



創立：昭和56年
 課程・学科：全日制課程・普通科
 生徒数：640名
 所在地：〒981-3109
 仙台市泉区鶴が丘4丁目26-1
 TEL：022-373-4125
 FAX：022-373-4126

ホームページアドレス：<https://shoryo.myswan.ed.jp/>
 電子メールアドレス：shoryo@od.myswan.ed.jp
 主な交通機関 【宮城交通バス】
 鶴が丘ニュータウン線：『泉松陵高校入口』下車徒歩6分
 ・地下鉄泉中央駅 5-2番 → 約17分
 ・地下鉄八乙女駅 3番 → 約16分
 ・JR岩切駅前〈泉中央駅行〉 → 約16分（発車時刻：8:00）
 ・仙台駅西口6番〈鶴が丘ニュータウン行〉 → 約47分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

限らない夢に、一歩ずつ

授業：きめ細かな学習サポート

進路：夢をかなえる進路指導

部活動：仲間とつくる新たな1ページ

泉松陵高校は、台湾12大学との連携協定および仙台白百合女子大学と国際理解教育の分野で高大連携協定をそれぞれ結び、グローバル教育を推進しています。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

宮城県泉松陵高等学校は、泉区の東部、鶴が丘の高台に位置しており、自然環境に恵まれ、四季の景観の移り変わりの中で、のびのびと明るい高校生活を送ることができます。

また、校舎・教育設備でも、整備・充実が図られています。自学室「松学館」や食堂・合宿所「陵風会館」は冷暖房が完備され、快適な環境で学習等に励むことができ、運動部はそれぞれの専用練習場で練習に汗を流しています。

このような恵まれた環境のもと、昭和56年4月の創立以来、生徒、保護者や地域の方々の協力のもとで着実な歩みを続け、学習、部活動や進学・就職等で多くの成果を上げてきました。卒業生は1万2千人を突破し、国内外各方面で活躍しています。

(2) 教育方針

広く国際的視野を持ち、未来のわが国に貢献し得る人物を育成すべく、知・情・意の調和ある発達を図り、心身ともに健全で、個性豊かな人間を育てる。

1. 自己を律し人間力を高め向上させる生徒の育成
2. 他を思いやり互いに助け合い社会に貢献する生徒の育成
3. 困難にあってもくじけず立ち向かう心を持つ生徒の育成

(3) 教育課程の特色

本校では以下の項目を重点的に、きめ細かな学習サポートを行っています。

1. 国公立大学を目指すカリキュラム
2. 習熟度別で行うわかりやすい授業
3. 基礎学力の定着を図るPTテスト
4. 応用力・実践力を高める課外講習
5. 小論文・面接に対応した個別指導

1年生では基礎学力の定着に重点を置き、全員が共通の科目を学習しますが、2年生からは進路に応じた選択科目を学習します。1・2年次の数学や英語においては、習熟度別・少人数編成授業を取り入れており、自分に合ったわかりやすい授業を受けることができます。また、1年生と2年生には特別進学クラスを設置し、進学希望者の進路達成を強力にサポートできる態勢を整えています。3年生では文系・理系に分かれ、さらに細分化された選択科目を設け、個々の進路希望の実現に向けて学習します。長期休業期間を利用した課外講習や、進路希望に応じた個別指導も充実しています。

令和7年度からは台湾12大学との連携協定を結び、さらに、令和8年度からは仙台白百合女子大学と高大連携協力に関する協定を締結し、世界規模で活躍できる人材を輩出できるようグローバル教育を推進しています。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

① 学校行事

主な行事として、松陵祭（文化祭）、球技大会などがあります。各行事では生徒が主体となって企画・運営を行うことで実践力や結束力が強まり、学年の垣根を越えて盛り上がります。

また、2年生の修学旅行では、関西方面と台湾方面の2方面で実施しています。台湾方面の修学旅行では、台湾連携大学との交流の他、故宮博物院等を見学地として実施しています。

② 生徒会活動(地域交流、ボランティア活動)
 募金活動や地域の児童館・市民センターでの活動支援などのボランティア活動が盛んに行われており、年間で約200人(延べ人数)の生徒が参加しています。近年、生徒会が企画立案し、地域交流として「多世代あいさつ運動」を行っています。

③ 部活動

<運動部> 硬式野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール(男女)、ハンドボール(男)、バレーボール(女)、ソフトボール(女)、ソ

フトテニス(男女)、バドミントン(男女)、陸上競技(男女)、卓球(男女)、弓道(男女)、剣道(男女)
 <文化部> 吹奏楽、美術、演劇、写真、書道、茶道、華道、科学、英語、家庭、応援団・チアリーダー

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R7	R6	R5
国公立大学	0	3	0
国公立短大	0	0	0
私立大学	84	107	99
私立短大	15	16	16
専各学校	76	60	79
就職	27	18	24
その他	8	8	11
卒業生計	210	212	229

主な進路先(令和8年3月卒業生)、

()内は人数 (1)は省略

<私立大学>

東北学院大学(12)、東北工業大学(11)、東北福祉大学(19)、東北医科薬科大学、宮城学院女子大学(9)、尚絅学院大学(12)、石巻専修大学(2)、仙台白百合女子大学(3)、東北文化学園大学(2)、東北生活文化大学(3)、仙台大学(3)、仙台青葉学院大学(7)、東北芸術工科大学(4)、岩手医科大学、流通経済大学、京都芸術大学 他

<短期大学>

仙台青葉学院短期大学(9)、聖和学園短期大学(3)、仙台赤門短期大学(3) 他

<専修各種学校>

葵会仙台看護専門学校(3)、仙台市医師会看護専門学校(2)、東北防災看護専門学校、仙台総合医療大学校(2)、宮城県立仙台高等技術専門学校(3)、東北電子専門学校(6)、宮城高等歯科衛生士学院(2)、仙台こども専門学校(4)、仙台幼児保育専門学校(4)、宮城県調理製菓専門学校(2)、SENDAI 中央理容美容専門学校(2)、仙台理容美容専門学校(2) 他

<就職>

東京消防庁、航空自衛隊(2)、陸上自衛隊(2)、日本郵便(株)東北支社、東北電力ネットワーク(株)、(株)ヨークベニマル(2)、トラスコ中山(株)、タリーズコーヒージャパン(株)、旭陽電気(株) 他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

本校生徒会 第9回日本生徒会大賞 大賞受賞

宮城県泉松陵高等学校は、第9回日本生徒会大賞（学校部門）において大賞を受賞しました。本校生徒会は「声を拾って、かたちにする」を軸に、生徒一人ひとりの意見を起点とした学校づくりを継続してきました。とりわけ、不登校傾向にあった生徒の声を出発点に、地域住民や小中学生と連携した「多世代あいさつ運動」を展開し、世代を越えた関係性の構築を進めてきました。さらに昨年度は、その実践を発展させ、本校と小・中学校、地域の方々が対話する「多世代サミット」を実施しました。多様な声を受け止め、社会に開かれた形で具体化していく姿勢が高く評価されました。



写真部 全国総文祭出場他

第32回宮城県高等学校写真展において、現3年生女子部員が金賞を受賞し、2026年夏開催される、文化部の全国大会である第50回全国高等学校総合文化祭への出品が決定しました（写真右上「What's your color?」）。



また、第12回高校生フォトグランプリでは昨年3年生男子部員が全国入選（写真右下「最後の最高のステージ」）、令和7年度冬季写真撮影大会では現2年生女子部員が最優秀賞を受賞しています。さらに、第32回写真甲子園東北ブロック審査会への出場も果たすなど、東北から全国にかけて着実に成果を積み重ねています。



美術部

令和7年度開校の県立学校校章に採用

現3年生女子部員が制作した校章が採用され、昨年行われた宮城県立松陵支援学校・宮城県立松陵支援学校富谷校開校記念式典で感謝状が贈呈されました。

祝 開校記念式典



令和7年11月20日(木)
宮城県立松陵支援学校
宮城県立松陵支援学校富谷校

(2) 学校の主な行事と泉三校定期戦

松陵祭

近年は9月上旬に2日間にわたり行われていましたが、今年度は8月最終週の金・土の2日間で実施されます。ステージ発表では文化部のみならず、クラスや有志団体による様々なパフォーマンスが行われ、とても盛り上がります。また、展示の部においては文化部の作品展示や、部活動やクラス単位による模擬店が開かれます。毎年、近隣の住民の方々や本校保護者などの多くの方々が来校します。



球技大会

秋に2日間開催される行事です。クラス毎に个性的なTシャツを作成し着用することにより、クラス全員が団結して総合優勝を目指します。昨年度は屋外でミニサッカーとドッジボールを、体育館でバレーボール・バスケットボールが行われました。さらに、2日目の全球技種目終



了後に全校生徒がグラウンドに出て、クラス対抗男女混合リレーが行われます。部活動による出場制限がないため、本当に最強のクラスが決定することもあり、白熱した雰囲気を球技大会の最後に体験できます。競技だけでなく、応援も盛り上がり、クラスの絆が深まるイベントです。

修学旅行（関西方面・台湾方面）

2年生の11月末または12月上旬に修学旅行を実施します。本校では、関西方面と台湾方面とで希望をとり、台湾方面については希望調査で一定人数に達した際に実施します。昨年度は関西方面のみでしたが、一昨年度は2方面で実施し、台湾への修学旅行では、貴重な国際交流体験をすることができました。現地では、本校が連携協定を結んでいる「開南大学」を始め、故宮博物院や、映画「千と千尋の神隠し」の舞台となったとされる九份老街など、台北市内の主要な歴史的・文化的な場所を見学しました。開南大学訪問では、本校生徒が事前準備をしていたスライドを用いて、日本文化を英語で紹介する活動もあり、好評を得ることができました。現地の学生（本校卒業生の留学生も在籍）や一般市民と片言の台湾語や英語を使って意思疎通を図りながら、異文化理解への興味を深め、満足度が高い行事となりました。今年度も関西方面と台湾方面の2方面で実施する予定です。



泉三校定期戦

毎年5月1日に、泉区にある3つの県立高校（泉松陵、泉館山、泉）で行う定期戦です。また、定期戦に先立ち、今年度は4月後半の日曜日に泉三校定期戦エール交換が行われます。定期戦当日は、シェルコムさんだいで総合開会式を行った後、仙台市泉総合運動場をメイン会場として各競技が行われます。全ての競技が終了後、泉高校で総合閉会式が行われ総合順位が発表されます。総合優勝校はその場で校歌斉唱を行います。最後に各校応援団エールを行い、互いの健闘をたたえます。



(3) 学校制服紹介

令和3年度から新制服となりました。本校のイメージカラーであるグリーンを基調とした制服となっています。男女とも、夏服は、シャツの他に紺色のポロシャツを選ぶこともでき、涼しいと好評です。また、女子はスカートの代わりにスラックスを選ぶことも可能です。家庭で洗濯できる素材を採用しています。



(4) 施設紹介

令和3年度に40周年を迎え、開校当初からの校舎は少しずつリニューアルが施され、快適に過ごせるようになっています。教室だけでなく、合宿所「陵風会館」や自学室「松学館」にも冷暖房が完備され、生徒が気持ちよく学習や合宿に取り組めるようになっています。また、県民の森と隣接しており、静かで自然豊かな環境で勉学に励むことができます。

